

ボルグワーナー、CellLink社に出資で電動化への取り組みを強化

- *ボルグワーナーの投資ポートフォリオや電動化戦略の一環として出資*
- *2021年6月11日に出資完了*
- *重量、スペース効率、コストで有利なCellLink社のフレキシブル回路*

革新的で持続可能なモビリティソリューションを自動車業界に提供するボルグワーナー(本社:アメリカ合衆国ミシガン州アーバンヒルズ、社長兼最高経営責任者:フレデリック・リサルド/Frédéric.B.Lissalde)は、CellLink社に出資しました。同社は、自動車および蓄電関連産業向けの、大型高導電性フレキシブル回路の開発を担う会社です。

今回のシリーズC株式投資は、ボルグワーナーのテクノロジー投資戦略や、年初に行われた投資家向け説明会において発表されたチャージング・フォワード電動化戦略の一環として実施されました。発表の中で、ボルグワーナーは電動化への移行を加速させ、EVテクノロジーの総売上高に占める割合を2030年に45%まで引き上げるという目標を明らかにしました。同戦略の中で、顧客の電動化シフトをサポートすべく、テクノロジー開発に力を注ぐとともに、パートナーシップや出資なども重点的に推し進めてまいります。

CellLink社はカリフォルニア州サンカルロス市を拠点とし、電力やデータの伝送能力を備えるバッテリーなどのデバイスの電氣的、熱的および機械的システム特性を向上させる革新的なフレキシブル回路を提供しています。CellLink社の回路は、従来のフレキシブル回路より軽量、占有スペースが少なく、高い導電性と熱伝導性を誇ります。また、コストで有利な上、より広範囲をカバーすることができます。しかも、専用設計の製造設備が不要です。この回路が適しているのはEV用バッテリーだけではなく、高出力と高速のデータ伝送能力を単一のフレキシブル回路に組み合わせることにより、次世代の電子アーキテクチャが実現し、車載の配電システムを劇的に簡素化します。

ボルグワーナー最高技術開発責任者のハリー・ハステッド(Harry Husted)は、「CelLink 社の優れた回路技術は、バッテリーパックや次世代の車載配線をはじめ、自動車向けの幅広い領域に適応し、当社のチャージング・フォワード電動化戦略とも密接に連携しています。電動化の目標実現に向けた数々の取り組みがありますが、今回の出資はその一環として位置づけられています。これにより、すべての主要市場における当社製品の競争力が強化、補完され、当社がビジョンとしているクリーンでエネルギー効率の高い世界の実現がさらに加速されるものと期待しています」と述べています。

CelLink 社の CEO、ケビン・コークリー(Kevin Coakley)氏は、「自動車業界では電動化が定着しつつあり、複雑さと重量を最小限に抑えるインテリジェントな配線システムがこれまで以上に業界で重要な課題になっています。当社の製品が将来の輸送手段の電動化に大きな影響を及ぼすことになると思いますが、それを後押すボルグワーナーの出資を大きく歓迎します」と述べています。

ボルグワーナーの出資は、Celink 社の成長に向けた次のステップとなる生産能力拡大をサポートすることになります。

近年、ボルグワーナーは、CelLink 社などの企業への出資、買収、パートナーシップを通じ、戦略的かつ意図的に電動化ポートフォリオを充実させてきました。ボルグワーナーは 2021 年 6 月 11 日に CelLink 社への出資者となりました。ボルグワーナーの電動化戦略と、ハイブリッドや EV ソリューションを含む包括的なポートフォリオの詳細については、borgwarner.com にアクセスしてください。

ボルグワーナーについて

ボルグワーナー(NYSE: BWA)は、自動車市場に革新的で持続可能なモビリティソリューションを提供する世界有数の企業です。OEM 向け純正品で培ったノウハウを活かし、グローバルアフターマーケット市場にもトップクラスの製品やサービスソリューションを提供しています。世界 23 カ国 96 カ所に生産・開発拠点をもち、全世界でおよそ 50,000 人の従業員を雇用しています。詳細については、borgwarner.com をご覧ください。

CelLink について

2012 年にケビン・コークリー(Kevin Coakley)、マルコム・ブラウン(Malcolm Brown)両氏により設立され、2015 年にブルース・グラハム(Bruce Graham)氏が加わった CelLink 社は、最も導電性と熱伝導性の高い世界最大のフレキシブル回路を製造しています。同社製品は、電力および信号伝送能力を備える車載配線、バッテリーパック、LED 照明、太陽光発電などのデバイスへの応用に最適です。CelLink 社は当初、2014 年度米国エネルギー省の Sunshot 助成金を通じて資金提供を受け、その後、計 6,500 万ドルの追加助成を受けています。詳細については、www.cellinkcircuits.com をご覧ください。

本プレスリリース(以下、本「リリース」)に記載された内容には、経営陣の現在の見通し、期待事項、試算、推定に基づく、1995年米国私募証券訴訟改革法で想定された将来予測に関する記述が含まれている場合があります。「見込む」、「考える」、「継続する」、「可能性がある」、「目的とした」、「影響」、「試算する」、「評価する」、「期待する」、「予測する」、「目標」、「指針」、「取り組み」、「意図する」、「場合がある」、「見通し」、「計画する」、「潜在的」、「予見する」、「推定する」、「追求する」、「目指す」、「すべきである」、「目標とする」、「の場合」、「でしょう」、「かもしれない」などの文言、その変化形および同様の表現は、かかる将来予測に関する記述であることを意図しています。さらに、歴史的事実に関する記述を除く、本リリースに含まれる、または言及する形で盛り込まれた当社の財務状況、事業戦略、当該戦略を実施するための手段などに関して、将来起きる、または起きる場合があると当社が期待する、または見込むあらゆる記述は、将来予測に関する記述です。その例として、業務の変更、競争上の強み、目標、当社事業および業務の拡大と成長、計画、将来の成功に関する言及などがあります。当社の2019年12月期のForm 10-K年次報告書(以下、「Form 10-K」)の第7項「重要な会計方針(Critical Accounting Policies)」で記述されたものをはじめとする会計上の試算は、本質的に将来予測です。すべての将来予測に関する記述は、歴史的な動向、現在の状況、期待される将来の進展、当社がそれらの状況下で適切と考えるその他の要因に関する当社の経験と知見を踏まえた当社による仮定および分析に基づいています。将来予測に関する記述は業績を保証するものではなく、当社の実際の業績は、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄と著しく異なる場合があります。

これらの将来予測に関する記述は、本リリースの発行日における事柄を述べたものであり、過度に依存すべきではありません。将来予測に関する記述にはリスクおよび不確実性が伴いますが、それらの多くは予見困難かつ一般的に不可抗力によるものであり、将来予測に関する記述において表現、推定、または示唆された事柄とは著しく異なる実際の結果をもたらす可能性があります。そうしたリスクおよび不確実性の例として、COVID-19/新型コロナウイルスに関連する事態が及ぼす影響の範囲および期間に関する不確実性(さらなる製造停止等)、2020年10月1日に完了したデルファイ・テクノロジーズ社の買収から期待される利益の不実現、取得した事業の迅速かつ効果的な統合の不実施、取得した事業に関連する未確認または推測不可能な債務の可能性、当社とAKASOL AGとの間で提案されている取引が完了しない可能性、必要な規制当局の承認が得られないこと、または提案されている取引のその他の条件が満たされないこと、提案されている取引の期待される利益の未実現、自動車およびトラック製造(いずれも景気に大きく左右される)への当社の依存性、大手OEM顧客への当社の依存性、商品の入手可能性および価格、供給停止、金利の変動および外貨の為替レートの変動、与信枠、主要経営陣への当社の依存性、情報システムへの当社の依存性、世界経済環境の不確実性、さまざまな損害賠償に関する訴訟など既存または将来の法的手続きの結果、当社が事業を展開している国における関税など将来の法規制の変更、直近のForm 10-Kの第1A項「リスク要因(Risk Factors)」など証券取引委員会に提出する報告書に記載したその他のリスクが挙げられます。当社は、期待事項の変更または記述の根拠となる出来事、条件、状況、仮定の変更を反映するために、本発表文に含まれる将来予測に関する記述のいずれかを更新する、または更新もしくは改訂を公表する義務を負いません。

<報道に関するお問い合わせ>

ボルグワーナー広報事務局 中井、浜辺

TEL: 03-6260-4854

EMAIL: borgwarner-pr@kyodo-pr.co.jp